

滋賀県 ぼてじゃこワパク塾（大津市 地域の団体のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

昨年は琵琶湖の中に浮かぶ沖島で琵琶湖の幸の食事会。ほとんどの人が初上陸、旬のビワマス、ウロリのほかバス、ギルまで初めて食べましたが、美味しく楽しい最高の1日でした。

また、有志でタナゴのタライ繁殖実験を自宅に持ち帰り観察した。しんどいこともあったが、毎日観察することで愛着が沸いたり、新しい発見があったり、知らないことを教えられた。

滋賀は、自然豊かで生き物も一杯、地引網、魚つかみ、魚釣りなど普段できない体験できて最高です。

わたしたちのSDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

初めて全国大会に選ばれ、子ども達が交流を楽しみにしていたので大変残念です。今回、皆さんの壁新聞を拝見し、子ども達の主体的な取組みと色んな分野への踏み込んだ研究には感心するばかりです。他のクラブのテーマを見て、当会の今年度以降の取組むべきテーマに大変参考になりました。



コーディネーターからのメッセージ

生きもの大好きなみんなが、「ぼてじゃこ池」でのさまざまな自然体験活動や、水辺の生きもの観察や魚つかみ等のイベント、絶滅危惧種のイチモンジタナゴを保全するための「タライ繁殖実験」など、1年間の盛りだくさんの活動を壁新聞にしてくれてありがとうございました！楽しく自然に親しむ活動を通して、優しい気持ちや自然を愛する気持ちをこれからも大切にしてくださいね！お世話をしてくださった大人の皆様、ありがとうございました。（滋賀県事務局）

◎ 京都府 木津川市子どもエコクラブ（木津川市 自治体の募集のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

- ・なるべく再利用できるものを選んでゴミをへらせるように考え工夫しました
- ・使い捨てプラスチックごみの削減についての現状と解決法
- ・洗いビン工場の流れの写真と説明のところで「ビンはこうして再利用してまた私たちの生活のもとへやってくるんだ」ということがわかりました
- ・ビンの清掃工場への見学



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

- ・未来の地球をみんなで守ろう
- ・これからも楽しく活動していこう
- ・これからの未来がよくなるように日頃から自分で決めたことを行動しておけば未来の地球はよくなると思います
- ・身近にあるビンを再利用したり外出時に水筒をつかったりすることでペットボトルごみを減らしましょう。そしてきれいな海を守りましょう！

🎀 コーディネーターからのメッセージ

子どもたちそれぞれが自分にできること、みんなにもやってほしいことを表現した新聞です。

日頃の生活、子どもエコクラブの活動を通じて感じたことを見た方に訴えられるものになりました。今後も環境に関する学びを継続してほしいと考えています。（木津川市事務局）

大阪府 せいわエコクラブ（大阪市 地域の友だちのクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

小学校のころは楽しく活動して、中学生になり間伐の必要性やイタセンパラ、廃プラスチックなどを考えて活動するようになっていきました。「森を守り 水を守り 生き物を守りたい」という気持ちを多くの人に知ってもらい、このことがどれだけ大切か考えてもらいたいです。今までの活動がSDGsにもつながっていて、このまま活動を続けていっていいのだなと思いました。



わたしたちのSDGsアクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

今年、東京で全国のみなさんと交流できるのをとても楽しみにしていましたが、コロナウイルスの影響で全国大会が中止になりとても残念です。今はいろいろな事に不自由だけど、負けずに活動していきましょう。来年の全国大会で会えるように、がんばりましょう！

サントリーホールディングス賞

せいわエコクラブの皆さんが「水を守り、森を守り、生き物を守りたい」という思いで継続的、発展的に活動を行なっていることに感動しました。

わたしたちサントリーグループも水の会社として「水を育む、森を守る」活動を行っています。

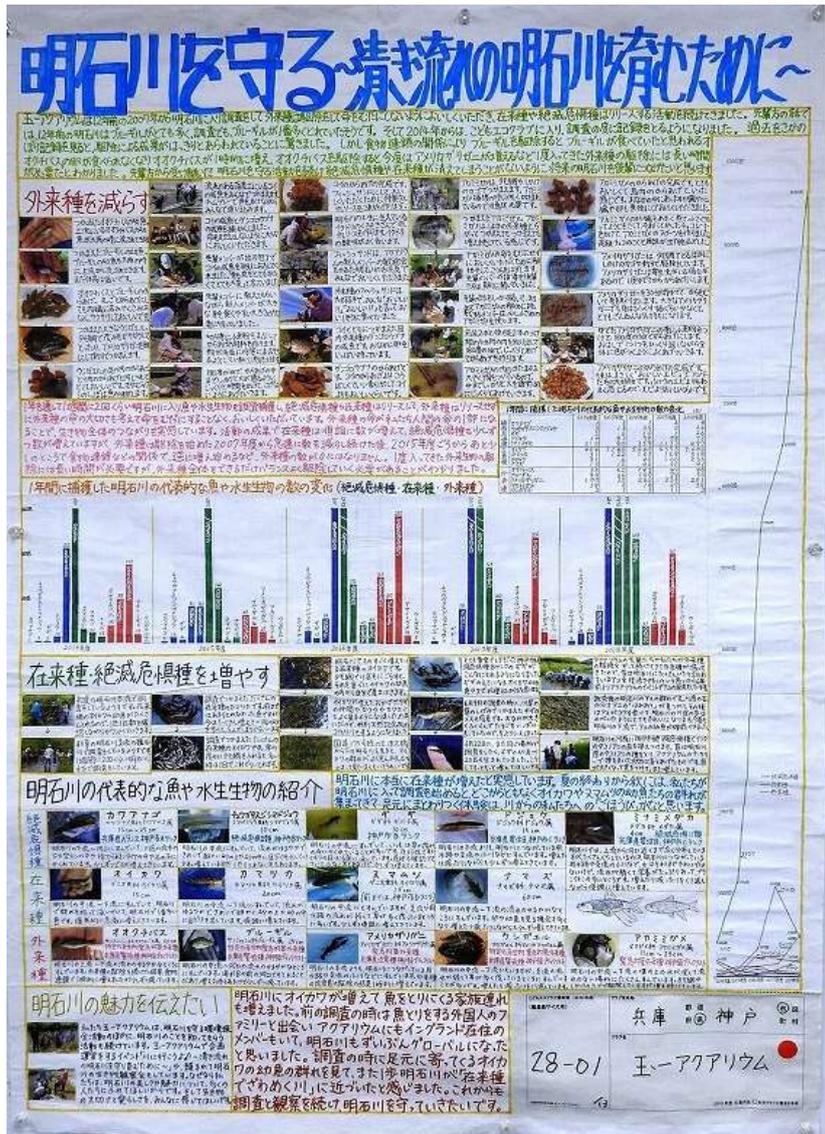
未来に水を引きつぐために、これからも自分たちにできることを考えて続けていってほしいと願います。

（サントリーホールディングス株式会社 サステナビリティ推進部 課長 市田 智之さんより）

○ 兵庫県 玉一アクアリウム（神戸市 学校・在校生と卒業生のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

外来種は赤、在来種は緑、絶滅危惧種は青というように、いろんな色を使いこの壁新聞を見てくださる人たちが見やすいように工夫して書いたところです。他にも、グラフや写真を用いて、調査でとれた生物の数のちがいや、その時の様子などが分かるようにしました。調査で外来種は駆除をして、在来種や絶滅危惧種はリリースする活動を続け、明石川を守り、いつか外来種がいなくなり、在来種や絶滅危惧種がざわめく明石川になるよう頑張っていることを、一番伝えたいです。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

各都道府県代表チームの壁新聞を見て、しっかり内容がまとまっていたり、いろんな色をつかってとてもきれいだったり、絵がうまかけたりしてすごと思いました。新型コロナウイルスのえいきょうにより「子どもエコクラブ全国フェスティバル」で直接みなさんと発表をしたりできないけど、これからもエコ活動を続けて頑張りましょう。



コーディネーターからのメッセージ

壁新聞については、長い時間をかけて、地道に集められたデータが丁寧にまとめられていて、地域に根ざした貴重な資料となっていると思います。また、駆除をされる外来種の命の大切さも考えて、その命を無駄にしないようおいしく食べたり、畑の肥料にするアイデアも紹介されており、これから活動に参加しようとする小さな世代の子ども達のお手本になると感じます。

今後も世代や人種を越えた方々が集える明石川をめざしながら、日頃の活動について、様々な場で発表をして、兵庫県から全国に発信していただけることを期待しています。

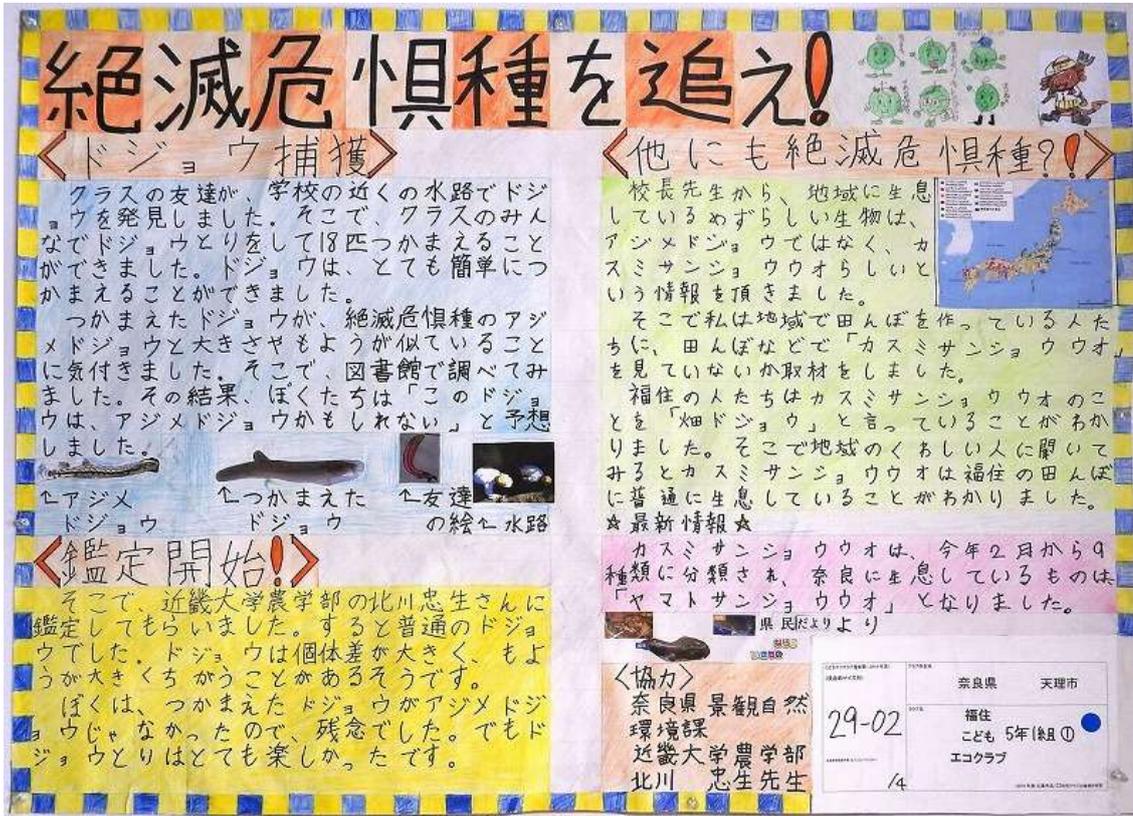
（兵庫県事務局）

奈良県 福住子どもエコクラブ（天理市 学校・全校のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

ぼくは、本当にアジメドジョウかと不思議に思ったので、図書館で調べてみました。他に地域の人にいろいろと情報をもらいました。次はヤマトサンショウウオのことを調査したいと思います。

一生懸命作ったので、たくさんの人に読んでもらいたいです。



わたしたちの SDGs アクション!



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

コーディネーターからのメッセージ

身近にいる貴重な生物について、地元市民でもなかなか知る機会がない中とても詳細に調べられており、子どもたちにとって知識を深める良い機会になったと思います。

新聞としてもきれいにわかりやすくまとめられているのが分かり、とても工夫・努力をこらして作られたのが伝わります。

事務局としても、今まで知らなかったことで驚いているとともに、ぜひこの頑張りをもっと多くの人に見てもらいたいです。

(天理市事務局)

全国の仲間へのメッセージ

全国フェスティバルの中止、大変残念でした。

私たちのクラブは設立からまだ3ヶ月の若いクラブです。設立のきっかけは、児童が学校前の水路にたくさんのドジョウが泳いでいることに気づき、教室で飼い始めたことです。そのドジョウは以前から飼っているものと大きさや模様が大きく異なっており、絶滅危惧種の「アジメドジョウ」ではないかと期待して鑑定を依頼したところ、残念ながら普通のドジョウであることがわかりました。でも、福住地区には絶滅危惧種「カスミサンショウウオ」が生息しているらしいことがわかり、今度は「カスミサンショウウオ観察会」を開こうと考えています。

鳥取県 日吉津イオン チアーズクラブ (米子市 イオンのクラブ)

みんなに一番伝えたいこと

今年「太陽」というテーマで活動しました。太陽はとてもすごいエネルギーを持っていて、ソーラーパネルで電気を作ったり、植物を育てることができます。温度はとても熱くて中心は 1600 万度もあります。誰がどうやって太陽の温度をはかったのか、ふしぎに思いました。太陽の光エネルギーを熱エネルギーに変えたり、植物の光合成に使われていてすごいと思いました。

とっとり自然環境館では、たくさんのソーラーパネルを設置して再生可能エネルギーと環境にやさしい取り組みをしていました。太陽の力を使って電気を作って、CO₂をへらせるので、もっとソーラーパネルが増えたらいいと思います。



わたしたちの SDGs アクション!



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

鳥取県は山や海に面した自然が豊かな件です。県内には自然の力を利用して電気を作る「再生可能エネルギー施設」が 50 ヶ所近くあると言われています。中でも、とっとり自然環境館の隣にある本州最大級のメガソーラーや、雪や氷の熱を利用した施設、水素エネルギーなど、珍しいエネルギー施設もたくさんあります。日本海沿いにある風車を観光したり、とっとり自然環境館でエネルギーや環境について学んでみませんか。ぜひ鳥取県に遊びに来てください!

コーディネーターからのメッセージ

この壁新聞は、太陽という惑星そのものの特徴から、エネルギーとしての活用方法まで、幅広く調べ、上手にまとめられています。調査対象も地元の施設を設定し、郷土愛醸成にも関連していると考えられます。子どもたちが、一年間の活動を通じて学んだことを活かし、様々な場面で活躍してくれることを願っています。(米子市事務局)

〇 島根県 上津探検隊 (出雲市 地域の友だちのクラブ)

みんなに一番伝えたいこと

ぼく達は、上津の生き物や自然が大好きな近所の小学生 15 人と大人 15 人で活動しています。毎週金曜日の夜に主に活動していて、近くにある川や田んぼでカエルやホタルの観察をしたり、星や月の観察もしています。

休耕田を借りて先ばい達が作ったビオトープ「カエルランド」の整備をしながら、カエルやイモリなどの生き物を発見したり、「カブトムシの森」や「サワガニランド」の生き物が増えるように整備を続けています。地域の自然にふれ合い、生き物を大切にすべく達の活動を知ってもらいたいです。



わたしたちの SDGs アクション!



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

島根県は現時点でコロナウイルスによる休校を行っていません。ですのでこどもエコクラブ活動は屋外で継続しています。今は星空観察とカエル産卵数調査を毎週しています。みなさま方の活動はいかがされていますでしょうか。今年も楽しく充実した活動を続けたいと思っています。

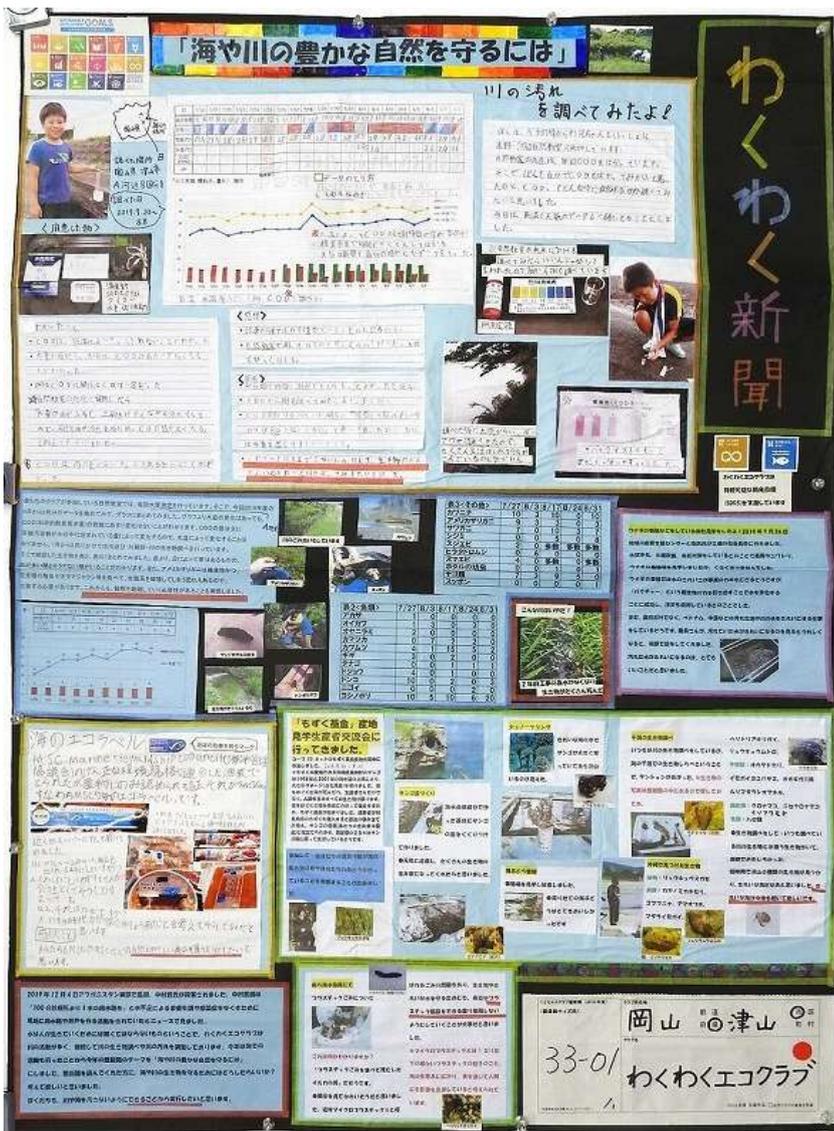
🎀 コーディネーターからのメッセージ

毎年度、生きものを大切に思う気持ち、自然を謳歌している様子が壁新聞を通して伝わってきます。今年度は、初めてのラジオ出演を行い、より多くのみなさんに知ってもらえる貴重な経験を積んだみなさん。自分たちの活動を誰かに知ってもらうことで、自尊感情を高めることにもつながります。来年度はカエルつりができるといいですね。
(島根県事務局)

岡山県 わくわくエコクラブ（津山市 地域の友だちのクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

- ・今まで 8 年自然教室に参加していましたが、今までに調べた COD をまとめて、今後観察を継続していくことを改めて実感しました。
- ・みんなで協力していろいろなことについてしらべたことと、これからいろいろなことについて調べていきたいと思いました。
- ・この壁新聞を見て少しでも自分にできる事を探して、実行してほしいので、重要だと思った所に赤いテープをはっています。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

- ・コロナウイルスで全国フェスは中止になってしまったけれど、来年の全国フェスに向けてこれからもがんばりましょう。
- ・全国フェスは中止になったけど、来年の全国フェスに向けてがんばります。
- ・交流はできなかったけど、来年は集まれるように今年もエコ活、頑張りましょう。



コーディネーターからのメッセージ

夏の暑い時期に、川の観察を長い間頑張りましたね。川の汚れについて、COD を測定し、水温、気温と比較して、疑問に思ったことや感じたこと、思ったことが、よくまとめられていますね。

海についても、プラスチックゴミ、海のエコラベルのことなど、いろいろな観点から調べてあるので、この壁新聞をぜひたくさんの人に見てもらって、環境やくらしについて、考えて行動してもらいたいですね。（岡山県事務局）

高知県 香美市子どもエコクラブ ハッピーアドベンチャー（香美市 学校・全校のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

このかべ新聞を見て「Let's cool choice!!」が分かるようにデザインを工夫して、問題点を「人にとっての自然」「まだ使えるのに・・・」「食品ロス・・・フードマイレージ・・・」等を注目してもらおうようにしました。

また今年 1 年間、本当にエコについて考えているのかという点について、活動を通して考えてきました。本で調べたりアンケートを取ったりしたデータを円グラフにまとめて、一目で伝えたいことが分かるようにもして、今まで活動してきた人もエコについて再び考える機会にしてもらえたらと思います。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

私たちのクラブは、「物部の森を守ろう！」と「みんなで Cool Choice !!」をテーマに楽しく活動しています。「紙上・子どもエコクラブ全国フェスティバル 2020」を見せてもらって、全国の仲間の活動からたくさんのヒントをいただこうと思っています。
全国のみんな！エコ活動を楽しもうね！

コーディネーターからのメッセージ

「エコは大事」とみんな言うけれど、実行に移せないのはなぜ？

力いっぱい、想いがいっぱい詰まった壁新聞！これまでたくさんのエコ活動を実践してきたみなさんが、啓発の大切さに気づき、アンケートという客観的な根拠をもとに伝えようと取り組んだことに、すごいなあと驚きました。みなさんのように楽しく、誇り高くエコに取り組む人がもっと増えるよう応援しています。これからもがんばってください！（高知県事務局）

○ 福岡県 若松イオンチアーズクラブ（北九州市 イオンのクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

わたしたちは、今年もいろいろな生き物と出会いました。その中で、その生き物たちのすみかが、ごみやマイクロプラスチックでうばわれないようにするためには、どうするかが書いています。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

私たちの住むまち北九州市には、たくさんの自然と、生き物達がいっぱいいます。公害の町から緑の町へ。そして北九州市は SDGs のまち。大切な自然を守るために、自分たちにできる事に取り組んでいます。みなさんも遊びに来てね！



コーディネーターからのメッセージ

砂浜での生きもの調査で、マイクロプラスチックが生きものに与える影響について知ることができて、いい経験になりましたね。清掃活動を行って生きものすみかも綺麗になり、砂浜にいた生きものたちも喜んでいたことでしょう。

活動を通じて学んだ環境を大切に意識付けを、日頃から意識して生活できるといいですね。（福岡県事務局）

○ 長崎県 だいやエコクラブ（佐世保市 家族・親戚のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

第3回目となる「子どもツーリズム・エコ会社」は、世界遺産である黒島集落でSDGs ツアーを開催しました。SDGsの目標を達成するために、エコ主のみんなとさまざまな活動に取り組むことができました。

壁新聞作成に1ヶ月間という長い時間をかけて、心を込めて、ていねいに書きました。見ていて楽しくなるように、色使いや記事の内容、絵をかいたり工夫をしました。私たちの活動をたくさんの人へ知ってほしいです。



わたしたちのSDGsアクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

今回の全国エコ活コンクールは、新型コロナウイルスの影響で開催が中止になり、とても残念です。

全国のクラブのみんなが、明るく楽しく元気に活動できるように、早くなってほしいです。

みんなに会える日を楽しみに、これからもエコロジカルあくしょんしていきたいです。



コーディネーターからのメッセージ

持続可能な開発目標について調べ、冒険というかたちで学び、体験した結果を写真や図などをうまく活用して壁新聞を作成しているので、楽しさや活動の様子がしっかり伝わってきました。

地域の環境を守っていくためには、自分たちに何ができるかということを考えることが大切なことですので、これからも楽しく活動を続けて、一緒に活動する仲間を増やして欲しいと思います。

だいやエコクラブさんのこれからの活動を応援しています。（長崎県事務局）

熊本県 広西地球環境クラブ（広安西小学校環境委員会）（益城町 学校・委員会のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

このクラブでは、益城町の湧き水やその周辺にいる生き物などを調査してきました。調べているといろいろな事がわかりました。その中でも、昔は湧き水のまわりには生き物がたくさんいたことがわかりました。クラブのみんなで話し合っ、昔のように生き物いっぱい湧き水にする活動をしてきました。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

調べていて、湧き水がでていることは偶然が重なってできていることがわかり、すごいことなんだなと思いました。みなさんの地域にも、湧き水ではなくてもその地域だけにあるものがあると思います。そんな地域だけの環境を守っていきましょう。

文部科学大臣賞

広西地球環境クラブのみなさん、文部科学大臣賞の受賞おめでとうございます！みなさんの壁新聞は、熊本の湧き水を舞台に本当によく調べ、活動されており、とても人を惹きつけるものになっていると思います。みなさんが地域の湧き水をとても大切にされているのが伝わってきましたし、様々な課題を学習しながら楽しく活動されている姿が目に見えようでした。

これからも多くの環境活動を行い、その体験を大事にしてください。その体験やその時の感動は大人になってもみなさんの宝物になると思います。

(文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課 青少年教育室 室長補佐 荒木 正寛さん)

○ 大分県 大平山友遊エコクラブ（別府市 児童館のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

私たちは、この勉強をするまで「私にはかんけいない」と思っていたけど、この勉強をして、かんきょうは私たちにもかんけいがあるんだと知って、かんきょうのことをいろいろ知りたいと思って、とりくみました。



わたしたちの SDGs アクション!



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

私たちは、海の宝や森の宝を探しに行きました。地球を守るためにぼうけんをしたり、ゴミをひろいました。かんきょうを守っていくことはとても大切なんだと思いました。地球はみんなの宝箱だから、これからもかんきょうを守っていかないとけないと思いました。



コーディネーターからのメッセージ

いつも地域での活動ありがとうございます。

環境に関しての様々な活動を通して学んだことや、感じたことがとても分かりやすくまとめられています。また、写真やイラストの使い方や全体配置など、どうすれば見る人にわかりやすいかを考え、工夫しながら作っていることが伝わります。

これからも皆さんが様々な活動を通して「宝」を見つけ、発信してくれることを期待しています。（大分県事務局）

○ 沖縄県 西表ヤマネコクラブ（竹富町 学校・全校のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

私たちの壁新聞で一番伝えたいのは、やはり「イリオモテヤマネコ」についてです。特別天然記念物で西表島固有種のイリオモテヤマネコのロードキルは後を絶たず、いつも悲しい思いをしています。

その中で、今年度ヤマネコのポストカードを作成し、港で配布したり地域の文化祭で来場者にヤマネコアンケートを取ったりしたことは、観光客や島の人がイリオモテヤマネコにより関心を持ち、意識を高めてもらえる取組の一つだったと考えます。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

全国の子どもエコクラブのみなさん、みなさんに直接会ったことはないけれど、いつか一緒に活動してみたいです。
 なぜなら、活動内容や方法はちがうし、住んでいるところもちがうから環境もちがうけど、その場所に応じた活動をしていることやメンバーのエコに対する意思や意欲は一緒だと思ったからです。

こくみん共済 coop 賞

西表ヤマネコクラブの日々の活動にとても感動しました。

特に島内のたくさんの方から「声」を集めるアンケート活動や島外の観光者に向けたポストカードの制作・配布など、地域に密着した素晴らしい取り組みが活動の成功に結びついていると感じました。

今後さまざまな環境テーマへの取り組みに期待しています。よりよい社会を共に創っていきましょう。

（こくみん共済 coop〈全労済〉常務理事 高橋 忠雄さん）